

しまって、桜の木に勢いがなくなるそうです。だから、桜は「切る」「折る」は、ダメで「桜切るバカ」となります。

【豆知識 3】 桜の花には毒がある!?

桜の葉にはクマリンという毒があります。

クマリンとは、雨の日などに葉が落ちることで毒をあたりにまき、雑草が育つのを防ぐ役割があります。つまり、桜以外の植物を周りに生えないようにして、地面の養分を独り占めしようとしています。桜は綺麗ですが、意外に腹黒いです・・・(笑)

人体には悪影響はありませんのでご安心を!!

【豆知識 4】 春に咲く花には黄色い花が多い!?

チョウやハチなどの昆虫や小鳥たちは、黄色い花に誘われやすいという理由から、春に咲く花には黄色が多いそうです。黄色い花に、命の喜びやエネルギーを感じるのは、このような理由からかもしれません。

【豆知識 5】 春に眠たくなるのはなぜ!?

春になると、こっくり、こっくりと、ついまぶたが重くなります。春にうたた寝が多いのは、気候がいいことだけが理由ではないようです。一説によると、冬眠から目覚めたために生じる反動だそうです。私たち人間は冬眠はしませんが、体の方は冬眠する体勢に入っているのです。たとえば、冬になると人間の毛細血管は、他の季節のときに比べて縮まります。これはエネルギーの消費を抑え、蓄えることで、冬眠に備えようとするものです。そして、春が来るとその体勢が解除され、毛細血管が全開になり、エネルギーがどんどん供給・消費されるようになります。その疲労のために、春先は特に居眠りしがちになるのだそうです。この私たちの体の冬眠現象は、ヒトに進化するずっと以前の、まだ冬眠の習性があったころの名残と言われています。

【豆知識 6】小学生のカバンはなぜランドセルというの!?

海外の方が、子供に日本の観光土産品として、ランドセルが人気そうですね。さて、小学生が背負っているランドセルですが、江戸の幕末にお侍さんが荷物を運ぶために、背負いカバンをオランダから取り寄せたのが、始まりと言われています。

オランダ語で背負いカバンのことをランセルと言っていました。そのうちにランドセルに変わりました。日本でランドセルが、一般に広まったのは、1887年(明治20年)で、当時皇太子だった大正天皇が、小学校(学習院初等科)に入学することを祝って、伊藤博文が、革のランドセルを献上したことで、日本中に広まっていきました。